

広報「みやわか」が、あなたの生活に欠かせない「わだい」と「情報」をお届けします

# 宮若生活

Public Relation Magazine MIYAWAKA City

22

7

2006  
NO.006

走れアルコ22号<sup>とき</sup>時空をこえて

特集 「<sup>あか</sup>朱き燃え石」

特集

# 「朱あかき燃え石」

公演を終えたときだった。

自然に目と目が合った。

あふれてくる涙が

頬をつたっていく。

そこに言葉はいらない。

出演者一人ひとりの

「朱き鼓動」が今伝わってくる。

宮若市合併記念イベントで行われた

市民ミュージカル、「朱き燃え石」。

出演者五十七人が掘り起こした「朱き燃え石」は、

今、宮若市に燃え広がろうとしている。

● 花田裕美子さん・三嶋彩加さん



合併記念イベント実行委員

永尾 睦 (ながお むつみ)

# 出演者の涙が、すべてを物語っていました。

「びっくりしたんです。最終公演を終え、お客さんを見送りしているときでした。通路から、号泣する出演者たちの声が聞こえてきたんです。」

公演が終わると、見に来てくれたお客さんを見送るため、出演者は通路に並ぶんです。前日と午前中ときは、

笑顔で握手などをしていたんですけど、そのときは人の目も気にせず、大粒の涙をポロポロと流していたんです。

大泣きする出演者の姿に、心打たれました。あの時に思い描いていた感動を、伝えることができたんだと思うと、私も涙があふれてきました。思いは六

年前にさかのぼるんです」。

あの感動をこのまちで体験したい

「当時、私は宗像市にある少年少女劇団の運営に携わっていました。当初

知ったときはとても信じられませんでした。でも、それ以上に驚いたのが劇団の公演を見に来た学校の先生でした。学校での様子とはあまりにも違ったからでしょう。その後、元気に学校に通うようになったんですよ。」

仕事などの関係で生活の中心は、隣まちでした。正直、自分が住んでいるまちに目を向けることはありませんでした。そんなとき、地域の人からまちづくり委員を薦められたんです。

まちづくり委員会は、行政の課題などを住民の視点から話し合い、提案する場です。

劇団の活動を続けながら、まちづくり委員会に参加するようになりました。夫も、地元での活動を応援してくれました。

そのころからでした。「このまちの子どもたちの中にも、踊りや歌をしたい子がきつといるはず。劇団を創ることのできれば、あの感動をこのまちで体験することができる。これまでやってきたことをこのまちでやってみよう」という思いが、強くなっていたんです。

す。

しかし、現実には厳しく、実現に向けた取り組みは難航していました。

新しいまちをみんなの手でつくりたい

「そのとき最大の契機がやってきたんです。宮若市誕生に併せて、合併記念事業の実行委員を募集するということです。私は『このときしかない』と思いました。合併記念事業に市民ミュージカルをしたいという、さかればれば六年前からの思いが沸々とわいてきたんです。

第一回の実行委員会するとき、いろいろな意見が出されました。私は、自分の思いを話しました。

『市民ミュージカルをしたい。ただミュージカルをしたくないじゃない。劇は、たくさんの方の協力がないと完成しない。新しいまちづくりと同じように、出演者、スタッフ、そして観客が関わり創りあげていく。合併記念事業にはこれがふさわしい』と話しました。

思いが一つに重なるとき

「実行委員会で協議を重ね、市民ミュージカルを行うことになりました。すぐに、出演者が募集され、プロの劇団の指導のもと、一つの劇団が結成されました。『宮若レインボーカンパニー』の誕生です。」

ふるりの歴史を振り返りながら、宮若市の素晴らしさを伝えようという脚本も完成しました。

しかし、多くの不安がつきまとってきます。練習になかなか人がそろわないんです。そして、ほとんどの人がミュージカル初体験なので、基礎的な練習からなくてははいけません。九か月間という時間は、瞬く間に過ぎ去っていききました。

絶対に失敗は許されないとこの思いが日増しに、実行委員の肩にのしかかってきていました。

公演一カ月を切ったとき、全体像が見えてこないで、指導されている先生とも話をしました。これまでの経験上、この時期には、ほとんど完成をしており、修正程度だったからです。

本番直前にもせりふが変わったりしたので、不安でたまりませんでした。本番を控えたある練習日、迎えに来た保護者に、練習時間が押していることの事情を説明したときでした。その保護者は『練習時間がおしても大丈夫です。それより完成してもらわないと

困ります。観ていたら不安です。私にも何かできることはありませんか』と言ってくれたんです。

みんなが完成させたい、創りあげなくてはという思いが一つになったように感じました。実行委員の願いが、出演者にはもちろん、保護者や、スタッフすべてに伝わっていくのを感じたとき、『いける』と確信しました。

本番でのお客さんの反応は、出演者の涙がすべてを物語っていました。『感動した、ありがとう』と泣きながら手を握る人など、たくさんの人と感動を共有することができたんです。

六年間の思いが、最高の出演者と舞台で実現しました。しかし、それは、終わりではなく、始まりなんです。そう、宮若市が今、歩みはじめたように、今後ミュージカルに参加した五十七人の「朱き燃え石」が燃え広がり、きっと輝くふるさとにしてくれると確信しています。だって、皆さん、宮若市が大好きなんだから。

六年間の思いが、最高の出演者と舞台で実現した。しかし、それは  
終わりではなく、始まりなんです



↑ 合併記念イベント実行委員の皆さん



宮若レインボーカンパニー 団員

井田 あゆみ (いだ あゆみ)

# お母さん、見てくれてありがとう。

「小学校二年生のときでした。重い肝臓の病気を患ったんです。食事はのどを通らず、点滴は逆流したり、生きていくのが本当につらかったんです。『私はこのままどうなるだろう。もしかしたら、死んでしまうのかな』と子どもながら考えていました。」

そんななか、『生きていたらきつといいことがある。がんばれ、がんばれ』と家族が懸命に支えてくれたんです。だから、ミュージカルが終わったとき、これまでになく感動が体中を駆けめぐりました。

「生きていてよかった」と素直に思ったんです。家族が生きる力を与えてくれたことに感謝しました。そして、涙が止まりませんでした。

その涙の中には、達成感や、つらいことを乗り越えてきた思いもあるんですが、去年の秋に母と交わした約束を果たすことができたことへの安堵感が一番だったんです。

きっかけは一本の電話だった

『もしもし、永尾と申します。今度、宮田町と若宮町が合併したときに、記

## 一生懸命、歌いました 一生懸命、踊りました 私の胸にある「朱き願い」 を込めて…

念ミュージカルをするようになったんです。ぜひ、あゆみさんに出ていただきたいのですが…。7月末ぐらいでした。一本の電話があったんです。電話の先は、合併記念イベント実行委員をされていた永尾睦さんでした。父と永尾さんは、まちづくり委員会でのつながりがあったんです。私は中学校では吹奏楽部に入部していたこともあり、音楽や踊りに興味があったんです。参加するとの返事をしました。あのとき、永尾さんに誘ってくれたことは本当に感謝しています。」

### 突然の病魔 母との固い約束

「出演者が集まり、劇団宮若レインボーカンパニーが誕生しました。台本を渡され、指導がはじまったときに驚いたんです。『ここまで指摘しなくて



もいいじゃないの?』と思うぐらい細かい注意が入るんです。ミュージカルの難しさを肌で感じました。また、人間関係にも不安を感じていました。出演者のほとんどが小学生だったんです。中学校のときの

ような先輩後輩の関係は経験していても、年齢が10歳も下の子にどのようにつながっていくのか、わかりませんでした。そんななか、オーディションがあり、配役が決まったときでした。劇団の『座長』に選ばれたんです。

座長に選ばれたからには、みんなをまとめ、同じ目標をもってやっていくとはりきっていました。

そんなときでした。母ががんにかされ、命が危険な状態になったんです。すぐに手術をしなければ、その二週間後には再発。三回の手術をしました。母が苦しんでいる姿は、壮絶なものでした。

練習にも熱が入ってきました。これまで、ただ言っていただけのせりふにも、気持ちが入ってきました。出演者を支えてくれる実行委員や、保護者の皆さんの願いが一つになっていくのを確実に感じていました。

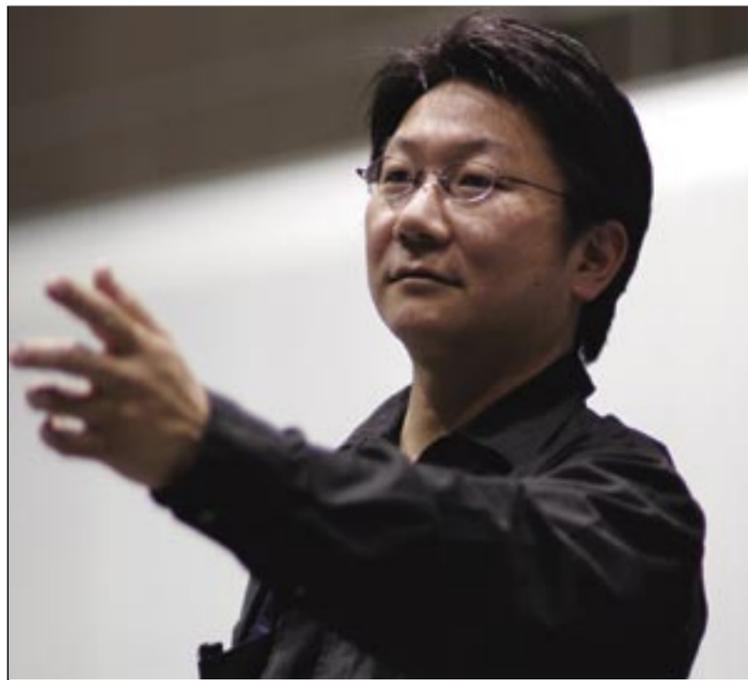
### 座長としての重責から 解放されたとき

「週二回練習がありました。私自身も含め、大半がミュージカルが初体験でした。うまく出来ない焦りが、公演が近づいてくるにつれて、重責として私のしかかかってきました。みんなをまとめきれないという思いだけが募り、体調を崩してしまいました。

公演後、母は『ここまですごいのとは思わなかった。よくがんばったね。感動したよ』と言ってくれました。涙があふれてきました。母との約束を果たすことができたのは、出演者の励ましや、舞台には上がっていない、たくさんのスタッフの支えがあったからでした。本当に参加してよかった。今はただただ、『ありがとう』と伝えたいです。」

# 「朱き燃え石」を 作り上げた、 舞台裏という仕事。

ミュージカルは、出演者が歌って踊るだけで、完成するものではありません。役者を引き立てる照明、物語に抑揚をつける音響、劇のストーリーである台本を書く脚本家など、多くの裏方スタッフがいます。「朱き燃え石」ではそれぞれのプロフェッショナルが、最高の舞台を求めて試行錯誤をしました。2日間公演にかけた「朱き挑戦」にスポットをあてます。



Yoshiteru Kanamori ●株式会社ブルーウィンド

舞台監督 金森義輝さん

出演者にけがをさせず、気持ちよく踊ってもらえるよう、細心の注意を払いました

●右上=大道具が設置される前のマリールーム宮田 ●右下=本番の舞台。大道具の位置などはすべて計算されている ●下=舞台のマットを裁断する金森監督。地道な作業だが、役者の足を支える大切なもの



舞台監督の仕事というのは、音響や照明のチェックをしたり、舞台全体のバランスをとることなんです。お客さんに舞台の違和感を感じさせてしまうと、いくら出演者が熱演しても、見てもられません。非常に大切な仕事です。また、出演者にけがをせず、気持ちよく演技できるようにすることも役目の一つです。今回、舞台の後ろに三段の階段を付けました。出演者が登ったり降りたりするときは、気を遣いましたね。最初にホールを見たときは、ミュージカルができるか心配でした。演出家と何度も打ち合わせを行い、大道具の大きさなどを決定していきました。舞台監督として、最終公演が無事に終わり、お客さんの笑顔を見たときに至福のひとときです。最高のスタッフと仕事ができただことに感謝しています。



Kanjo Miyazaki ●みやざき音楽製作舎

作曲家 宮崎漢生さん

わくわくして、笑いがあり、涙がでるもの、いろいろなることをシュミレーションしました



●出演者の声を録音しているところ。マイクの前では、子どもたちも緊張気味。



●上=宮崎さんが、難しいと感じたタイムスリップのシーン。音楽、照明、踊りの相乗効果により、時間の旅に引き込まれそうになる。 ●左=「人生の主役」を歌う横田哲夫役の花田浩幸さん。「自分の人生はほかでもない、自分なんだ」と立ち上がる。宮崎さんお気に入りの1シーンだ。



作曲で一番難しいと感じたのは、異次元の世界にタイムスリップをするところですね。音には時代、時代を表現するものがあるんですが、タイムスリップという、未体験の音をどのように創作していくか、難しい反面、楽しかったです。また、古代の音楽のときには、民族楽器の生の演奏を使ったりもしました。今回の舞台は私にとっても挑戦でした。効果音一つにしても、編集に、編集を重ねた結果、「朱き燃え石」で使用した音楽のデータ量は、CDにして十五枚分にもなったんです。とにかく、見に来てくれた人が、わくわくしたり、笑ったり、感動して涙を流してくれたりしてくるよう、さまざまなシュミレーションを繰り返しました。その結果、お客さんの反応もすごく良いものがありました。今回の「朱き燃え石」に、携わることができて、私は本当に幸せ者です。こんなに多くの人たちが、私の作った歌を一生懸命歌ってくれている。私自身、この思いを忘れず、次の作曲活動に取り組んでいきたいです。

脚本・演出 徳満亮一さん

演出は、お客さんの代表。

見にきたお客さんを満足させるのが仕事です



Ryoichi Tokumitsu ●有限会社劇団ドリームカンパニー



●身ぶり手ぶりで指導する徳満さん。相手がプロでも素人でも関係なく、最高の演技を求め、ゲキが飛ぶ。



●徳満さんと出演者の信頼関係が強くなると、その演技もより輝きを増してきた。この真剣な表情、目の輝きを見て欲しい。

脚本は、お客さんあつてのもの。演出は、お客さんの代表です。出演者の皆さんには、厳しいこともいいましたが、それは見にきたお客さんを満足させるためなんです。

脚本を書くとき、宮若市のことをたくさん勉強しました。始めは、タイムスリップする道具となるものに、未来の自動車を使おうと思ったんです。しかし、石炭記念館に行つたときでした。片隅にあったアルコ22号の存在感に目を奪われたんです。「これだ」と思いました。

ミュージカルに参加した多くの人が、素人ということも、そんなことはお客さんには関係ありません。舞台の魅力だけでなく、その厳しさを伝えることも、私の役目だと思いました。子どもだからといって、子ども扱いをするのではなく、一人の「人」として接してきました。

ミュージカルは、歌もあり、踊りもあり、せりふもある。これを習得しようと思つたら単純に三倍の時間をかければいいものでもありません。五倍、六倍、人によっては、十倍の時間が必要になってきます。そんな大変な思いをし、

歯を食いしばって、がんばつてきたことは、今後の人生の支えになっていくはず。皆さんとは、九カ月前までは、全くの他人だったのが、ミュージカルを通して、今は、成功を喜び合い、感動を共有している。これが演劇の素晴らしさだと思います。

「心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる」私の大好きな言葉です。皆さんは、今回のミュージカルに参加するため、オーディションを受けました。これは大変勇気のいることです。この勇気が今後あなた自身の運命を変えるかもしれません。

「朱き燃え石」のストーリーもドラマチックですが、企画から練習、本番までの九カ月間はそれ以上の人間ドラマがありました。実行委員の熱い思いがなかったら、私たちの出会いもなかったのですから。

このミュージカルを通して、最後まであきらめない気持ちを持つてくれたらと思います。それは、これから始まる宮若市にも当てはまることではないでしょうか。

音響 西村和貴さん

音は生もの。

最高のものを求めて、調整するのみです



Kazuki Nishimura ●株式会社ギャルソン

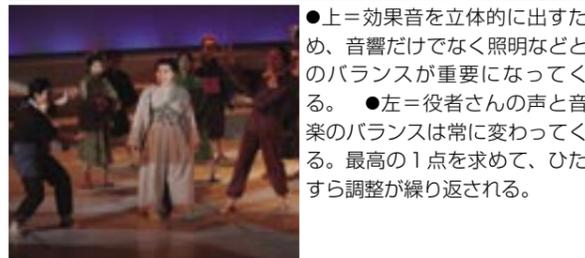
「いかに臨場感のある音を出すか。」

すべては、そこにかかっています。作曲家からいただいた歌や音をイメージどおり出すため、舞台の奥にスピーカーを設置したり、少ない時間のなかで、いろいろな工夫をしました。

「音」というものは「生もの」なんです。会場の広さやお客さんの人数、温度や湿度で、いつも環境は変化しています。そんななかで、最高のものを求めて、試行錯誤していきます。今回、四回の公演がありました。すべて異なるセッティングなんです。

「朱き燃え石」は音響スタッフフ三人で担当しました。演出家や、役者さんから出てくる要望を的確に答えられるか。そこが難しいところ。とにかくたくさんの知識と情報収集が欠かせません。

お客さんからみたら「影」のような存在ですが、音には「光」を持たせ、お客さんを楽しませたいですね。

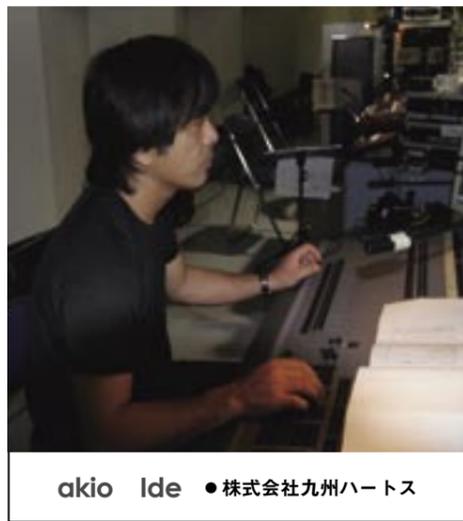


●上=効果音を立体的に出すため、音響だけでなく照明などとのバランスが重要になってくる。●左=役者さんの声と音楽のバランスは常に変わってくる。最高の1点を求めて、ひたすら調整が繰り返される。

照明 井手昭雄さん

役者の心情をいかに表現できるか

光の演出で、見ている人に感動を与えたい



akio Ide ●株式会社九州ハートス

今回公演が行われたホールは、演劇のための会場ではないので、多くの機材を持ち込みました。照明は、百台近くになったんではないでしょうか。それでも最低限のもので

プロの役者の場合は、照明をセッティングしていきなかに、決まった場所に立っていただくようにしています。一般の役者さんの場合は、立つ位置を約束すると、演技に支障がでしまう場合があります。そのため、その場その場の動きをある程度予想して、照明を操作するようにしています。

照明にはトラブルがつきもの。本番までに解決できるような短い時間のなかで点検していきます。「朱き燃え石」では、演出家からかなりの部分まかされたので、やりがいと責任をもって臨みました。

私たち照明は、役者さんの心情をいかに表現できるか。「光の演出」で、見ている人に感動を与えたいですね。



●1人の役者を、いくつものライトで浮かび上がらせる。本番までの少ない時間を最大限に生かして、最高の作品へと仕上げている。これまでの経験や感性が問われる。



●菊池六朔が登場。勉学の大切さを肌で感じ、現代へ帰ろうとするが、石炭不足で、昭和時代へ



place 5

江戸末期／笠松村の峠



●大之浦小学校の運動会の場面。石炭を手に入れるためリレーに出場。そして、見事石炭をゲット。

place 6

昭和時代／大之浦小学校



●無事に現代に戻ってくる。そして、感動のフィナーレへ。出演者全員で「輝くふるさと」を熱唱。観客席のボルテージも最高潮へ。お客さんの拍手が、会場全体を包み込んだ。

place 7

現代／石炭記念館



●石炭記念館に遠足やってきた子どもたち。アルコ22号との不思議な旅はここから始まる。

place 1

初夏／石炭記念館



●鞍橋君のおきさき、香弥様が登場。みんなの力で、竹原古墳の装飾壁画を完成させる。

place 2

古墳時代／竹原古墳



●天然痘と言われる病気が大流行し、次々と倒れる村人たち。道心上人の祈りが村人を救った。



place 3

平安時代／極楽寺



●心の迷いを晴らすため修行していた宮本武蔵と遭遇。生きるために大切なことを学ぶ。



place 4

江戸時代／若宮の山中

【朱き舞台】●躍動する鼓動・輝く瞳・「朱き燃え石」、感動のフィナーレ

「朱き燃え石」は私たちの心にたくさんのことを呼び覚ましてくれた。  
それは今、忘れ去られようとしている郷土愛。宮若市にはふる里を思い、愛する人がいます。

# ふる里を愛する人がいる。



地域コミュニティの原点があった

## 貝島炭砦

【かいじまたんこう】



語り手 ● 榎田 崇さん（宮若市石炭記念館館長）

「感慨無量なのは大運動会、競技種目の中でも、メインイベントは、地区最高の名誉を懸けた部伍リレー。私も何度か選手で出場したが、登竜門を潜る時の心臓の鼓動が今にも蘇る。鉢巻きを付けると、自然と身が引き締まり、一段と気合いが入った。観覧席は、身動きもできないほど凄かった。運動場は、道路を隔てて高台があり、そこも見物人が鈴なりだった。

次に、お楽しみは昼食。かあちゃんたちが、風呂敷に包みきれないばかりの重箱に、油揚げが、いい味に染み込んだイナリずし、めつたに口に入らなかつた鮮やかなタマゴ焼きの色、そして止めを刺すのが台湾バナナ…。

炭住に帰るとき、「よう頑張ったね」と声を掛けてくれる



●地区の威信をかけて、疾走するランナー。

たおじさんや、おばさんたち、うれしいのと、照れくさいの一言でした。

これはある人が書いた貝島炭砦の運動会の様子を作文にしたものです。これを読み返すと自然とその情景が目に浮かんできますね。ミュージカル「朱き燃え石」でも運動会のシーンがありました。貝島炭砦の行事の中でも一番のイベントではなかったでしょうか。そのなかでも地域の威信をかけた「部伍リレー」は、すさまじい盛り上がりでした。

炭砦の仕事には危険が付きます。だからこそ、お互いに運命共同体の意識が強かったのではないのでしょうか。悪いことをすれば、隣のおじさんがしかつてくれたあの時代…。

地域コミュニティが求められる今、その意識が必要なのではないでしょうか。

**問い合わせ**

- 利用時間 午前9時から午後5時まで
- 休館日 月曜日（月曜日が祝日のときは火曜日）、毎週木曜日の午後、年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）、祝日
- 問い合わせ 宮若市石炭記念館 ☎32・0404

1,500年前の空気がそこにはある

## 竹原古墳

【たけはらこふん】



語り手 ● 吉村 登走さん（竹原古墳案内人）

千五百年以上も前の絵がこんなに鮮明に残っているのは、高松塚古墳と竹原古墳ぐらいですね。

昭和30年10月、偶然遊びに来た高校生が発見したと言われていますが、はっきりしたことは記録に残っていないのでわかりません。

発見当時は、そのほとんどが土に埋まっていた。調査が始まり、大学の教授や、学者がたくさんやってきたことを覚えています。

古墳は6世紀の後半に造られたといわれ、国指定史跡にもなりました。

形状は直径約十八メートル、高さ五メートルの円墳。石室は複数の横穴式石室となっていて、玄室の奥壁と前室の両袖石、計三カ所に赤いベンガラと黒の木炭で見事な絵



●竹原古墳は諏訪神社の境内にある。

**問い合わせ**

- 利用時間 午前9時から午後4時まで
- 休館日 月曜日（月曜日が祝日のときは火曜日）、年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）
- 入場料 210円（大人）
- 問い合わせ 中央公民館 ☎32・0123

や分様が描かれています。

また、竹原古墳からは杏葉と呼ばれる馬具や鉄鏃、太刀、玉、ガラス玉、耳飾りなども出土しており、中国大陸や朝鮮半島の文化の影響を受けていたことがわかっています。

この絵を後世まで伝えるため、昭和33年、れんが造りの保存室が完成。今のような施設になったのは、昭和50年以降になります。史跡の保存管理は、地元の守る姿勢がないと成り立ちません。

日本の装飾古墳の中でも最も優れた一つと言われている竹原古墳。

古墳の中でも最も具象的で、物語性に富んでおり、今も多くの研究者を悩まし続けています。

宮若市は、そんな壮大なミステリーがある素晴らしいまちです。これからも多くの人に伝えていきたいですね。



「朱き燃え石」編集を終えて

初めて取材に行ったのが昨年11月だった。マリールホール宮田では、配役を決めるためのオーディションが行われていた。

そのわずか7カ月後には、堂々と自信に満ちあふれた出演者の姿があった。最初から最後まで、何度見てもあきることにはなかった。何度も感動した。

劇のクライマックスに、このようなシーンがある。

純 「僕たち決心したんです」

「僕たちが宮若市の新しい歴史を作ります」

あゆみ 「うん、私たちが宮若市の新しい歴史を必ず作ります。だって宮若市が大好きだもん！」

私が「朱き燃え石」の好きなせりふの中の一つだ。

この合併記念事業の一つとして行われた「朱き燃え石」。ミュージカルは終わったけれど、心の中の「朱き燃え石」は消してはいけない。たくさんの人に燃え広げなくてはいけない。

なぜなら、これから新しい宮若市を作っていくから。

舞台は宮若市。

出演者はそう、あなた。

ミュージカル「朱き燃え石」のストーリーもドラマチックだったけど、それに負けないくらいまぢづくりもドラマチックなんです。

ここに一枚の写真がある。

これは、6月22日に行われたまぢづくり委員会での会議風景。三十五人の委員さんが毎月一回、各分会に分かれて宮若市の課題や問題点を話し合っていく。

会議に行けないあなただってまぢづくりにできるんです。地域の「寄り合い」に行くことだってまぢづくりなんです。

ミュージカルが終わった一週間後、「あゆみ」を演じた児童に会った。何気ない話しの後、私は質問した。

「宮若市のこと、好き？」

彼女は即答した。

「もっちゃん！大好き。これからもうと宮若市に住んでいたい」

私はその言葉を聞いたとき、体の中からぼとぼと「朱き燃え石」を感じた。



ら就労に至らない被保護者に対しての自立支援を推進します。

■ 児童福祉Ⅱ子育て支援や保育所サービス等の充実を図るため、「宮若市次世代育成支援行動計画」の策定を行います。

■ 母子福祉Ⅱ母子家庭等の社会的、経済的自立を促進するため、関係機関との連携による相談支援体制の確立に努めます。

■ 高齢者福祉Ⅱ「宮若市老人保健福祉計画」に基づき介護予防、生活支援、地域ケア体制の構築などを推進します。

■ 介護保険Ⅱ福岡県介護保険広域連合と連携し、介護保険事業計画に基づき、事業の円滑な運営に努めます。

■ 障害者福祉Ⅱ障害者自立支援法による「自立支援制度」の円滑な導入に努めるとともに、手話通訳設置事業等の各種福祉事業を実施します。また、宮若市障害者計画、障害者自立支援法による障害福祉計画の策定、さらに身体障害者用自動車改造助成事業等の県から移管された事務事業に取り組みます。

■ 健康づくりの推進Ⅱ健康の保持・増進のための意識の向上を図るとともに、自主的・主体的な健康づくりを支援します。

■ 老人保健Ⅱ要介護状態への予防

文化活動の拡充を図ります。また、竹原古墳や石炭記念館などの歴史遺産の保存管理、歴史教室開催等を進め、文化財の調査把握や保護意識の普及を図ります。

■ 合併記念事業Ⅱ市民・企業・行政等あらゆる主体の参加のもとでの祝うべく記念式典の実施として、将来を担う児童、生徒を中心とした市民ミュージカル、

■ コミュニティ施設の整備充実Ⅱ若宮総合支所を中核とした住民協働の場であるコミュニティ施設整備の調査を行い、総合的なコミュニティ体制づくりに努めます。

■ 地域情報化の促進Ⅱ双方向コミュニケーションシステム構築の構築を目指し、基盤整備のため、市役所と各公共機関を光ケーブルで結ぶ地域イントラネット基盤整備事業に取り組みます。

■ 人権尊重社会の構築Ⅱ人権教育・啓発に力点を置いた事業を推進し、人権尊重社会の構築に

等を取り入れた健康教育、健康診査等を推進します。

■ 母子保健Ⅱ健康教育、健康相談等の拡大に努めます。

■ 感染症の予防対策Ⅱ罹患や流行を防ぐため、予防接種の実施及び接種勧奨に努めます。

■ 救急医療サービスⅡ安心して治療を受けることができるよう、医師会との連携を図り、サービスの充実に努めます。

■ 国民年金Ⅱ社会保険事務所との連携を図り、年金制度の啓発、適用事務の円滑な処理に努めます。

■ 国民健康保険Ⅱ啓発活動の充実、レセプト点検等による医療費の適正化、健康づくり教室等による健康づくりの推進等に努め、国保事業の安定的運営を図ります。

■ 幼児教育Ⅱ義務教育との一貫教育の確立に向けた「幼・小連携」のほか、「幼・保一元化」に対応する総合的施設の整備など、子供を育てやすい環境の整備等に取り組みます。

■ 学校教育Ⅱ学校教育検討委員会を設置し、統廃合も視野に入れた学校等の適正規模の確保と施設整備計画の策定、低学年の三十人学級の実現や幼・小・中学

講演をベースとした記念事業を行いました。

■ 市民参加の促進Ⅱ開かれた行政運営を行い、市民の行政への参加を促し、行政の説明責任を果たすため、積極的な情報開示や情報の共有を推進します。また、個人の権利利益を保護するため、個人情報保護条例の適切な運用を進めます。

■ 政治倫理の確立Ⅱ政治倫理条例制定検討委員会を設置し、「宮若市政治倫理条例」を制定します。

■ 広聴Ⅱ市民の声を市政に反映させるため「市民提案箱」を設置し、

■ 政治倫理の確立Ⅱ政治倫理条例制定検討委員会を設置し、「宮若市政治倫理条例」を制定します。

■ 男女共同参画社会の推進Ⅱ女性団体との連携による啓発・学習活動等を推進します。また、男女共同参画基本計画策定に向けた条件整備を行います。

■ ふれあい交流活動の充実Ⅱ国際感覚を備えた人づくり、市のイメージアップを図るため、姉妹都市の提携や青少年の海外交流事業の導入について検討しま

校教育のあり方について、調査・検討を行います。また、「学力向上プロジェクト」は、引き続き宮田地区にて推進するとともに、市全体での実施に向け、調査・検討を行います。

■ 幼児・児童生徒の安全確保Ⅱ学校・地域・家庭・警察等との連携を図り、学校の安全管理の徹底や登下校時等の安全確保に努めます。

■ 小中学校への外国語指導手の派遣Ⅱ引き続き実施し、児童生徒の英語教育の充実等を図ります。

■ 小中学校のコンピュータ機器整備Ⅱ小学校三百三十三台、中学校二百二十五台を整備し、各校などを含め構築される地域イントラネットの活用を推進します。

■ 旧鞍手商業高等学校の土地・建物Ⅱ宮田中学校として活用する方針の下に、引き続き譲渡の実現に向けた要請を行います。

## 平成18年度施政方針

■ 図書館を核とする生涯学習拠点施設整備Ⅱ「実施計画」策定等の準備を進め、平成19年度に実施設計や用地取得等を行い、その後、施設整備に取り組みます。

■ 公民館活動Ⅱ各種講座の開催、地域公民館事業や地域文化の育成等を図り、公民館・社会教育施設等を活用したネットワークづくりや指導者の育成に取り組みます。また、高齢者大学等各種講座の開催による学習の場の提供や地域の行事等に指導者として活躍の場を要請し、生きがいづくりに努めます。

■ スポーツの推進Ⅱ社会体育関係団体等との連携を図るとともに、「宮若市スポーツ振興計画」の策定、「総合型地域スポーツクラブ」の設立など、生涯スポーツ環境の充実に努め、引き続き宮田毛勝地区の総合運動公園の造成整備に努めます。

■ 青少年の健全育成Ⅱ家庭、学校、地域の連携を図り、子供まつりなどのさまざまな体験活動の機会の提供や事業の充実に努めます。

■ 家庭教育事業Ⅱ子育て講座の開催等により、親子の居場所、仲間づくりの場所の提供を推進します。

■ 芸術文化活動Ⅱ「宮若市文化連盟」などとの連携を図り、公民館まつり等の開催を通じ、芸術

で宮若市第一次総合計画を策定します。また、補助制度の有効活用と事業の効率性確保のため、都市再生特別措置法による「都市再生整備計画」を策定します。

■ 自主財源の確保Ⅱ税収入の確保のため、滞納処分の充実強化を含めた滞納対策の事務処理手続の再構築に取り組み、税負担の公平性の確保と自主財源の確保に努めます。また、課税客体の確かな把握による適正な課税を図るため、旧若宮町域を含め、固定資産税に係る地番現況図の更新を行います。

■ 行財政運営Ⅱ庁内に行財政改革推進本部と行財政改革推進会議を、また有識者などで行財政改革推進委員会を設置し、「行財政改革大綱」「集中改革プラン」を策定するとともに、市民にわかりやすい行財政改革を推進します。また、企画調整機能の充実や政策形成能力の強化など人材育成に努め、多様化する行政需要に対応できる組織の構築、効率的な行政サービス提供のための定員適正化計画などの策定に努めます。

■ 総合行政の推進Ⅱ各施策の現状と課題の分析を行い、二年計画

■ 図書館を核とする生涯学習拠点施設整備Ⅱ「実施計画」策定等の準備を進め、平成19年度に実施設計や用地取得等を行い、その後、施設整備に取り組みます。

■ 公民館活動Ⅱ各種講座の開催、地域公民館事業や地域文化の育成等を図り、公民館・社会教育施設等を活用したネットワークづくりや指導者の育成に取り組みます。また、高齢者大学等各種講座の開催による学習の場の提供や地域の行事等に指導者として活躍の場を要請し、生きがいづくりに努めます。

■ スポーツの推進Ⅱ社会体育関係団体等との連携を図るとともに、「宮若市スポーツ振興計画」の策定、「総合型地域スポーツクラブ」の設立など、生涯スポーツ環境の充実に努め、引き続き宮田毛勝地区の総合運動公園の造成整備に努めます。

■ 青少年の健全育成Ⅱ家庭、学校、地域の連携を図り、子供まつりなどのさまざまな体験活動の機会の提供や事業の充実に努めます。

■ 家庭教育事業Ⅱ子育て講座の開催等により、親子の居場所、仲間づくりの場所の提供を推進します。

■ 芸術文化活動Ⅱ「宮若市文化連盟」などとの連携を図り、公民館まつり等の開催を通じ、芸術

で宮若市第一次総合計画を策定します。また、補助制度の有効活用と事業の効率性確保のため、都市再生特別措置法による「都市再生整備計画」を策定します。

■ 自主財源の確保Ⅱ税収入の確保のため、滞納処分の充実強化を含めた滞納対策の事務処理手続の再構築に取り組み、税負担の公平性の確保と自主財源の確保に努めます。また、課税客体の確かな把握による適正な課税を図るため、旧若宮町域を含め、固定資産税に係る地番現況図の更新を行います。

■ 行財政運営Ⅱ庁内に行財政改革推進本部と行財政改革推進会議を、また有識者などで行財政改革推進委員会を設置し、「行財政改革大綱」「集中改革プラン」を策定するとともに、市民にわかりやすい行財政改革を推進します。また、企画調整機能の充実や政策形成能力の強化など人材育成に努め、多様化する行政需要に対応できる組織の構築、効率的な行政サービス提供のための定員適正化計画などの策定に努めます。

■ 総合行政の推進Ⅱ各施策の現状と課題の分析を行い、二年計画

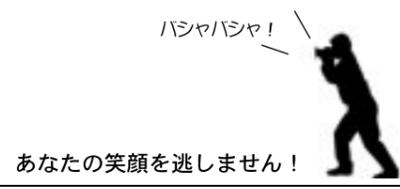
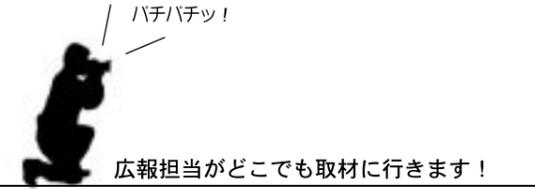
# 市民と協働でつくるまち、宮若市を目指して



有吉哲信 Tetsunobu Ariyoshi

昭和21年2月24日生まれ。昭和44年福岡大学法学部卒業後、宮田町役場に奉職。57年自治大学校卒業。平成11年宮田町教育委員会教育長に就任。今年3月、初代宮若市長に就任。通勤時、愛犬コロの散歩も兼ねた約2キロのウォーキングが、就任以来の日課である。

# Miyawaka Waching



すずき しゅんた 鈴木 駿太ちゃん H 17年7月31日生 (福徳)  
 かさはら なつき 笠原 夏輝ちゃん H 17年7月10日生 (巖光)  
 あまつ そら 天津 想来ちゃん H 15年7月29日生 (巖丸)

大好きなお兄ちゃんのように元気な男の子になってね。  
 1歳のお誕生日おめでとう。愛梨姉ちゃんとつちゃん二人仲良く元気に育ってね。  
 お誕生日おめでとう! 思いやりのある優しい子になってね。



てらしき りんか 寺敷 凜香ちゃん H 17年7月10日生 (鶴田)  
 きじま ななこ 来島 菜々子ちゃん H 16年7月11日生 (上大隈)  
 あらまき きえ 荒牧 季英ちゃん H 16年7月10日生 (山口)

これからCUTEな笑顔でみんなを癒してね。  
 やんちゃでおませな菜々子。踊りがとても大好き。お姉ちゃん、お兄ちゃんと仲良くね。  
 おかげさまで2歳になりました。私の健康のヒケツは、もりもり食べることです。



ないとう りゅうのすけ 内藤 隆之介ちゃん H 16年7月26日生 (福徳)  
 さかもと ひとみ 坂本 一美ちゃん H 17年7月18日生 (新笠原)  
 いしだ ひより 石田 日陽里ちゃん H 17年7月19日生 (巖光)

2歳のお誕生日おめでとう。これから元気いっぱい育つてね (V.V. ママより)  
 お誕生日おめでとう。笑顔いっぱいのひとみちゃん、優しい子に育ってね。  
 毎日元気いっぱい、おてんば娘です。V.Vとママの宝物です。



きむら ゆうじん 木村 優仁ちゃん H 17年7月28日生 (福丸)  
 じょうこう まりか 上甲 真理花ちゃん H 15年7月11日生 (宮田)  
 おのざわ まき 小野沢 慎ちゃん H 17年7月7日生 (金丸)

お誕生日おめでとう。我が家の王子様は元気いっぱい育っています。  
 3歳のお誕生日おめでとう。いつまでも明るく、元気な子でいてください。  
 1歳のお誕生日おめでとう。お兄ちゃんと仲良く元気に大きくなってね。

## 我が家の愛 7月生まれ



かから ゆうか 加々良 優香ちゃん H 17年7月31日生 (上大隈)

お誕生日おめでとう。元気いっぱい大きくなってたくさん一緒に遊ぼうね。

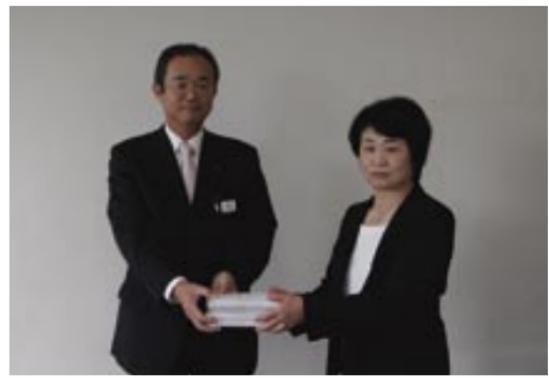
●満3歳までの宮若っ子を募集しています。8月生まれで掲載を希望される人は、7月12日(水)までに、本庁企画調整係、支所管理係まで申し込んでください。



### リリーさん、母校に帰る

▶ リリーフランキーさん、母校で授業

5月24日、宮田南小学校で、リリーフランキーさんが特別授業を行いました。今回の特別授業は、テレビ番組の収録の中で行われたもので、児童にラブレターの宿題をだしたり、給食と一緒に食べたりするなど、始終リラックスしていたリリーさん。母校での思い出などを児童に話してくれました。



### 大切に使います

▶ 市内小中学校に図書券贈呈

6月7日、飯塚信用金庫の花村弘さんから若宮中学校の北崎洋子校長に図書券の贈呈が行われました。これは、地域の児童生徒にたくさんの本と触れ合って欲しいと願う、飯塚信用金庫が毎年行っているもの。この図書券は、宮若市内の学校で児童生徒が利用する図書の購入に使われます。



### 功績をたたえて

▶ 宮若市発足記念式典

6月4日、宮若市文化センターで宮若市発足記念式典が行われました。宮若市の発足に多大なる貢献をした、渡邊豊利前宮田町長と寶部義信前若宮町長に市町村合併功労者総務大臣表彰が贈られました。その後、早稲田大学大学院教授、北川正恭さんによるまちづくり講演会が行われ、三重県知事時代の経験など、地域の自立について語ってくれました。



### 今年も満開です

▶ さつき展示会

5月27日から3日間、マリーホール宮田で、さつき愛好会主催、第27回さつき会展示会が行われました。会員の皆さんが丹精込めて育て上げた花たち。最初から育てると10年以上もかかるとか。この日、来場した人は、「同じ作品でも、去年と今年では咲き方が違うんですよ。また、来年も見に来たいです」と話してくれました。



### まちをきれいに

▶ 宮若市日赤奉仕団による清掃ボランティア

6月8日、日赤奉仕団の活動の一環として宮若市婦人会が市役所前から犬鳴川河川公園にかけてごみ拾いを行いました。「ぱっと見るときれいに見えますが、草の影に空き缶やたばこの吸い殻があります」と話してくれたとおり、ごみがたくさん落ちていました。婦人会は、ボランティアをはじめ、災害救護や献血促進など、さまざまな活動をしています。



### サメは「さめ肌」なんだあ

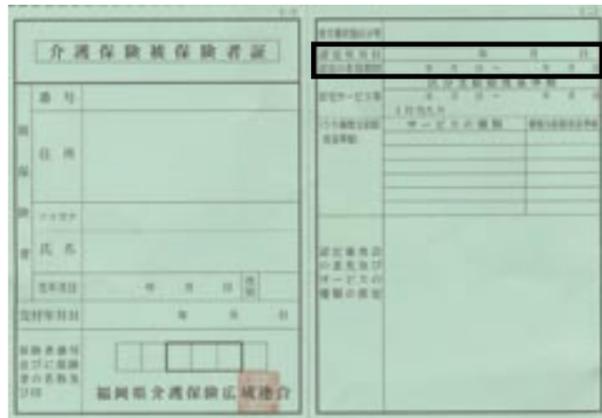
▶ 移動水族館教室

6月7日、宮田小学校体育館で、マリンワールド海の中道主催の移動水族館が開かれました。身近に海がない子どもたちは水槽の前で大はしゃぎ。各ブースには、生きているサメに触れたり、はく製があったりと盛りだくさんの内容。マリンワールドの中村維沙さんは「海の生き物を知って頂く、いい機会になったのではないのでしょうか」と話してくれました。

## HOT LINE

**更新申請は60日前からできます**  
「介護保険広域連合からのお知らせ」

●問い合わせ 介護保険広域連合鞍手支部 ☎ 32・5046  
本庁老人福祉係 ☎ 32・0515  
支所福祉係 ☎ 52・1113



↑介護保険の認定を受けている人はこの日付を確認しましょう。

**こ**れまで介護保険要介護・要支援認定の有効期間が終わる約1カ月前の時点で更新申請を行っていない人に対して、「更新の手続きについてのお知らせ」を送付してまいりました。

しかし、「更新申請」については、そのほとんどが介護サービス事業者によって「代行申請」が行われており、また、「更新申請」を行った二割弱の人はサービスを利用していないのが現状です。そのため、介護保険制

度の限られた財源を、より有効に介護サービスに活かすために、有効期間が平成18年7月31日以降となっているものから、「更新の手続きについてのお知らせ」の送付を廃止します。

更新申請については、有効期間満了日の六十日前から手続きが行えます。

介護保険被保険者証の「認定有効年月日」を確認して、介護サービスを利用している場合には、手続きを忘れないようにしてください。

**ペットボトルは「ごみ」ですか？**  
いいえ、「資源」です  
「ペットボトルなどのリサイクル」

●問い合わせ 本庁環境衛生係 ☎ 32・0516  
支所環境衛生係 ☎ 52・1113



**ペ**ットボトル・ビン・カンは、資源としてリサイクルされます。市内から集められたペットボトル・ビン・カンは鞍手町にある泉水処分場に持ち込まれ、そこで選別し、再生工場ですっきり生まれ変わります。

分別したこれらのものにフタやキャップなどが混じっていると、再生工場に引き取ってもらえず、ごみとして処分するしかありません。正しく分別ができれば、もっともつとリサイクルが可能となります。

**リサイクルの流れ**

**パソコンの電源の入れ方を知らない人も大丈夫**  
「パソコン講座受講生募集」

●問い合わせ 本庁社会教育・公民館係 ☎ 32・0123

講座名	対象者	コース	開催日	ところ	テキスト代
初めてのパソコン講座	パソコンを全く触ったことがない人	Aコース 午後2時から4時まで	8月29日(火) 8月31日(木) 9月5日(火) 7日(木)	中央公民館 視聴覚室	1,000円
		Bコース 午後7時から9時まで	12日(火) 14日(木) 19日(火)		

**パ**ソコンの経験がまったくなから、今からパソコンを始めようという人、電源の入れ方から学ぶ、初心者を対象とした講座です。

●ところ 宮若市中央公民館視聴覚室

●募集人員 A・B各コース十九人

※申込みが多数の場合は、事務局で抽選をし、決定します。また、申込みが定員に満たない場合は講座を中止する場合があります。受講については、七回でコースとなっています。

●対象者 市内に住んでいる人が勤めている成人に限ります。

●受講料 千円(テキスト代)

●申込方法 宮若市中央公民館、中央公民館若宮分館に用意してあります。申込用紙に、必要事項を記入の上、提出してください。

●申込締切 8月11日(金)まで

※受講が決定した人には、受講決定通知書を送付します。(抽選により、落選された人には通知しません)

**8月13日からお休みです**  
「お盆の固形燃料用ごみ・し尿のお休み」

●問い合わせ 本庁環境衛生係 ☎ 32・0516  
支所環境衛生係 ☎ 52・1113

**お**盆期間中の収集日程について次のお盆の収集 8月13日(日)から15日(火)までお休みいたします。16日(水)から平常どおり収集します。

●固形燃料用ごみの収集 8月13日(日)から16日(水)までお休みいたします。17日(木)から平常どおり収集します。

●し尿の収集 8月13日(日)から15日(火)までお休みいたします。16日(水)から平常どおり収集します。

※し尿の臨時収集の申し込みについては、8月10日(木)までに次の一覧表にある業者へ連絡をしてください。

収集業者名	電話番号	業種
サン・フレッシュサービス	☎32・1176	し尿・ごみ
西鞍手浄化槽管理	☎32・0507	し尿・ごみ
協和環境	☎32・4821	し尿
鞍手衛星舎	☎52・0903	し尿
宮田環境	☎32・2445	ごみ
友永清掃	☎32・0050	ごみ
エーアンドシー	☎09496・2・1197	ごみ
若宮清掃	☎52・3199	ごみ

# ちがっていてもいいんだよ それがキミのかがやきだから

Why...



「なぜ… 気付いたときがはじまりです」

Start

## 十人十色、 でもみんな尊い生命

福岡県では、同和問題の一日も早い解決と県民の人権意識を高めるために、7月を「同和問題啓発強調月間」と定めています。この期間中、県内各地で同和問題など人権を考えるさまざまなイベントが行われます。県では「人権が尊重される心豊かな社会の実現に向けて」という主要なテーマを掲げ、学校教育・社会教育に現状と課題を提示しつつ、人権教育と啓発を積み重ねているところです。

しかし、「県民意識調査」では、「集会や講演会、研修会などに一度も参加したことがない」「そつとしておけば差別は自然になくなる」などの意見がまだたくさんあります。

私たちの周りには同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障害者、外国人、HIV感染者、ハンセン病患者、犯罪被害者の問題、さらに最近ではインターネットによる人権侵害など、あげればきりがないほどの人権問題が解決できずに存在しています。

宮若市は「差別の現実から深く学ぶ」というテーマで人権啓発を行ってきました。今もこの姿勢はまったく変わっていません。例えば、子どもを虐待してしまう親や賤称語を使ってしまった人を差別者として非難するだけでは問題は解決しません。表面に現れた差別的な行為の底にある悩みや苦しみが解かれない限り問題の解決にはならないのです。私たちが物事を正しく見つめるという

ことは「何が正しくて何が間違いか」を常に深く学ぶことから始まります。そこを避けて通つたら差別のしくみの中に落ち込んでしまうことが多いのです。

昨年、人権啓発冊子で特集した「ハンセン病特集」もその観点から追及しました。ハンセン病を患った人や患者にかかわり続ける人から直接話を聞くことによつて見えてくるものがあります。

「何が正しくて何が間違いか」を深く学ぶことができずにはいられません。そして、「私たちは差別するしくみの中に無意識に生活している」ということも感じさせられました。

かつて明治時代の初め「解放令」という「被差別部落の人々も一般の人々と同様であるべきこと」という内容の法律が出されました。そこで被差別部落の人は

銭湯に行くのですが、お店の人にこう言われます。

「私はいいいのですが他の人が来なくなりましたので…」それから約四十年が過ぎた今、どうでしょう？

利害関係の中で相手が優位に立つと、差別のしくみが立ち上がるように思えます。私たちは学ぶことによつてお互いを確かめ合いながら、ここを乗り越えなくてはなりません。まずは学んで知ること。そして大切な何かを感じることに。

7月「同和問題啓発強調月間」です。県内各地で開催される様々なイベントに参加し、お互いの交流を深めつつ、新しいまちづくりをおこなっていきましょう。

十人十色、みんな違ってそれでいい。そこから尊い命を確かめ合うことが大切ではないでしょうか。

## 同和問題啓発強調月間の取り組み

### 人権講演会

- とき 7月26日(水) 午後1時30分開場
- ところ 宮若市宮田文化センター
- 演題 くるめにわかで人権を考えよう
- 講師 吉谷忠男さん(くるめにわか振興会)
- ※講演会は鞍手町、小竹町でも同じ講師を迎え、行います。
- 鞍手町
- とき 7月12日(水) 午後1時30分開場
- ところ 鞍手町中央公民館
- 小竹町
- とき 7月19日(水) 午後1時30分開場
- ところ 小竹町中央公民館
- ※すべての講演会に手話通訳がつかます。

### 福岡県主催の講演会

- とき 7月22日(土) 12時開場
- ところ イイズカコスモスコモン
- 内容 ▶第1部=①落語「粗忽家勘朝」②獅子舞「上金田郷土芸能保存会」  
▶第2部 ▶演題=「ばあやんからのメッセージ」～阿波木偶箱まわしを復活させて～▶講師=辻本一英さん▶実演=阿波木偶箱廻しを復活させる会

食中毒の季節です

新鮮な食材をしつかり調理、食中毒を防ぐ五つのポイントを紹介します。

生活環境が衛生的で快適になった今日のごころ。「食中毒なんて自分とは関係ない話」なんて思ってしまうかもしれません。でも、食中毒は何も食品メーカーや飲食店などによるものばかりではありません。「平成16年食中毒発生状況」によると、家庭での発生状況は全体の十二パーセントという高い数字だということを見逃すことはできません。今月は、これからの季節に発生しやすい食中毒の対策について考えます。

食品を購入するとき

- ① 肉、魚、野菜などの生鮮食品は新鮮なものを購入し、賞味期限などを確認して購入しましょう。
- ② 購入した食品は、肉汁や魚の水分がもれないようにビニール袋などにそれぞれ分けて包み、持ち帰りましょう。
- ③ 温度管理が必要な食品、冷凍食品は最後に購入し、まっすぐ持ち帰りましょう。

家庭で保存するとき

- ① 冷蔵庫や冷凍庫の詰めすぎに注意しましょう。目安は7割程度
- ② 肉や魚などは、容器に入れ、他の食品に肉汁などがつかないようにしましょう。

調理をするとき、食事をするとき

- ① 十分泡立てた石鹸で、手全体をまんべんなく洗いましょう。

く洗いましょう。

- ② 生の肉や魚を切った後、洗わずにその包丁やまな板で、果物や野菜など生で食べる食品や調理の終わった食品を切るとはやめましょう。
- ③ 包丁、食器、まな板、ふきん、たわし、スポンジ等は使った後すぐに、洗剤と流水でよく洗いましょう。熱湯をかけた後、煮沸をすれば、確実です。
- ④ タオルやふきんは乾いている清潔なものと交換して使用しまししょう。
- ⑤ 加熱して調理する食品は十分加熱をしまし



よう。

- ⑥ 料理を途中でやめてそのまま室温に放置すると、細菌がついたり、増えたりします。途中でやめるような時は、冷蔵庫に入れましよう。

食品が残ったとき

- ① 残った食品を温め直す時も十分に加熱しまししょう。
- ② ちよつとでも怪しいと思ったら、食べずに捨てましよう。

疑わしい時は

- ① 自己診断をせず、食中毒の疑いがあるときは、お医者さんにすぐにみせましよう。
- ② 腹痛や下痢のときは、市販の下痢止めを服用しては逆効果の場合もあります。お医者さんにみせるときは「いつ症状が出始めたか」「どんな症状か」そして、最近「何を口にいったか」などを詳しく報告しまししょう。



さかさのこもりくん  
あきやただし作・絵  
教育画劇

こもりくんはこうもりの子。いつもさかさです。話す言葉だってさかさです。例えば、「はくと遊ばないで!」は「一緒に遊ぼう!」だったり…。本当の気持ちを言えないこもりくん、お友だちはできるのでしょうか?そして、本当の気持ちを伝えることができるようになるのでしょうか?



秀吉の枷 上・下  
加藤廣・著  
日本経済新聞社

「本能寺の変」の後、謀反人・明智光秀の首を取り秀吉は出世の道をひた走る。比類なき軍事、政治手腕を持ち、ついには官位も最高へとまで上りつめ、独裁を極めた晩年。しかし、秀吉の心は晴れていなかった。覇者の驕り、後継不在への焦りだったのか。栄華の中にいながらも秀吉を蝕んでいく心の闇…。物語は衝撃の結末を迎えます。



どんなかんじかなあ  
中山千夏・作 和田誠・絵  
自由国民社

友だちのまりちゃんは目がみえない。それで考えたんだ。「みえない」ってどんな感じかなあって。ひろくんは目をつぶる。そして発見する。ひろくんはいつも考える。どうしてこんなに考えることができるのか?それはひろくんがね…。ひろくと彼の友だちの話がいろいろな考えを運んでくれたらいいなという思いから生まれた絵本です。

今月の新刊です

- 一般の本  
ボタ山のあるぼくの山 (山口勲・作)  
食べるな。危ない添加物 (山本弘人・作)
- 児童の本  
にちようびのぼら (松成真理子・作)  
ねずみちゃんとりすちゃん (どいかや・作)

おはなし会のお知らせ

楽しいお話と工作を用意しています。  
●とき 7月1日(土)午後2時から  
●ところ 中央公民館1階児童室  
※ 参加するとシールが貼れるお話し会カードがもらえます。たくさんシールを集めてね。  
※ 今回の簡単工作は「ペットボトルが大変身!くるまを作ろう」です。(参加費は無料です)

司書の「ホンの」の気持ち

読書感想コンクール編

「第50回西日本読書感想画コンクール」、「第52回青少年読書感想文全国コンクール」の課題図書が発表されました。読んで感じた気持ちを表すことは難しいですが、自分の気持ちを形にできた時の喜びはかけがえのないものになるでしょう。私も感想文コンクールに応募した事を懐かしく思い出しました。広告の裏紙に下書きしたっけ…。

図書室では課題図書を揃えています。また、課題図書の一覧、簡単なあらすじなど、お気軽にお問合せください。司書はチャレンジする子の味方です!

相談

お父さん、お母さん  
一人で悩まないで

主任児童委員、保健師、家庭児童相談員が子育てについての悩みを受け付けます。

- ところ 宮若市保健センター
- 相談日 ▷7月3日(月)、8月7日(月)9月4日(月)10月2日(月)、11月13日(月)、12月4日(月)平成19年1月15日(月)、2月5日(月)、3月5日(月)▷時間=午前10時から12時まで
- 相談受付 ☎32・8530

家庭児童相談室を  
設置しました

お子さんの心配ごとを家庭児童相談員に相談してみませんか。相談料は無料で秘密は守られます。また、電話での相談も受け付けています。

- ところ 宮若市家庭児童相談室(福祉事務所内)
- 相談日 月・木曜日午前9時から午後4時30分(祝祭日、年末年始を除きます)まで

- 問い合わせ 家庭児童相談室 ☎32・0570

その他

まちづくり人づくり事業等  
補助金制度の訂正について

5月広報で掲載しました「宮若市まちづくり人づくり事業等補助金制度」の記事の人材育成事業の項目に、一部誤りがありました。お詫びし、訂正します。

- 誤(人材育成事業)

対象	対象事業
団体	人材育成を目的として開催される研修会への参加

- 正(人材育成事業)

対象	対象事業
団体	人材育成を目的として開催する研修会

- 問い合わせ 本庁まちづくり推進係 ☎32・0512

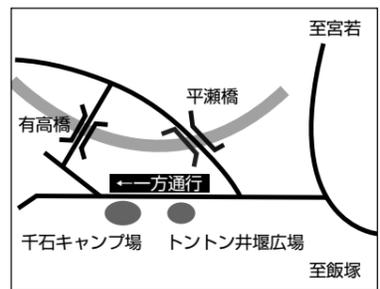
自慢の舟で挑戦しませんか  
犬鳴川下り大会

- とき 7月23日(日)午前7時30分集合、8時スタート

- コース 宮若市役所前河川敷駐車場から直方市天神橋下流の河川敷公園までの9キロ
- 参加資格 小学4年生以上
- 参加艇 手作りのもの(カヌーなど)
- 申込期間 7月14日(金)まで
- 申込み・問い合わせ 犬鳴川下り実行委員会 ☎32・2737

笠置・有高線の一部が  
一方通行になります。

いこいの里千石キャンプ場の開設期間中(7月10日(火)から10月10日(火)まで)、市道笠置・有高線の一部(トントン井堰から笠置山登山口)が、一方通行になります。



- 問い合わせ 本庁商工観光係 ☎32・0519

親子で学ぶ  
すこやか食育教室

幼児期からの食生活を簡単な料理を作りながら親子で学ぶ教室です

- とき 8月4日(金)午前10時から午後1時まで
- ところ 保健センター「パレット」
- 対象者 就学前の幼児とその保護者
- 料金 無料(託児有、要予約)
- 申込期間 7月28日(金)まで
- ※ 定員(15組程度)になり次第締め切ります
- 申込み・問い合わせ 保健センター「パレット」 ☎55・6000

これから  
狩猟をする皆さんへ

狩猟には免許が必要です。県では、狩猟免許試験や講習会を行います。また、狩猟をするには、狩猟しようとする場所を管轄する都道府県に狩猟者登録をすることがあります。

- とき ▷試験=9月8日(金)▷講習会=7月7日(金)
- ところ 筑豊ハイツ

- 申込方法 狩猟免許(更新)申請書を申請者の居住地を管轄する農林事務所に、10日前までに提出してください。
- 問い合わせ 飯塚農林事務所 総務課 ☎0948・23・4145

現代国際巨匠絵画展開催

精神保健福祉について考えるための絵画展です。入場は無料です。

- とき 7月8日(土)から10日(月)まで午前10時から午後7時まで(最終日は午後6時まで)
- ところ ユメニティ直方
- ※ 開催期間中はガブリエル・フォンテーヌさんのサイン会があります。
- 問い合わせ NPO法人なおみの会共同作業所絵画展実行委員会 ☎26・3211

献血から生まれる贈り物  
7月は愛の血液助け合い  
運動実施月間

血液は、人工的に作る事ができませんし、長期間保存することもできません。つねに、誰かの血液が必要なのです。夏季

は血液が不足します。皆さんのご協力をお願いします。

- 問い合わせ 保健センター ☎32・8539、保健センター「パレット」 ☎55・6000

防ごう非行  
助けよう立ち直り  
社会を明るくする運動月間



社会を明るくする運動は、皆さんが、犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない社会を築くための全国的な運動です。犯罪や非行を無くしていくために、私たちができることを積み重ねていくことが大切です。

眠っているこいのぼりを  
もう一度泳がせませんか

これまでお子さんの健やかな成長を祈り、掲げられたこいのぼりをもう一度泳がせてみませんか。おはらいをして、大切に使用させていただきます。

- 問い合わせ 磯光井戸端会、小林 ☎32・3235

人の動き

※5月31日現在(前月比)

人口	31,209人 (-31)
男性	14,690人 (-12)
女性	16,519人 (-19)
世帯数	12,437世帯 (+17)

協働のまちづくりのために、まちづくり委員会が行われました

5月25日木曜日、第1回まちづくり委員会が行われ、35人の委員さんに委嘱状の交付を行いました。各委員さんは、下の表のとおりです。

これから平成20年4月末までの2年間、宮若市との協働のまちづくりのためにご尽力をいただくことになりました。活動として、月1回開催する会議で宮若市の現状やさまざまな問題点、目標について協議していただきます。

- 問い合わせ 本庁まちづくり推進係 ☎32・0512

穴井忠幸	安部佳代子	有吉エマ子	石井信博	石松義道	伊藤文典	小田瑞男
加護ひかり	岸田圭美	工藤真美子	黒山晃基	神谷美晴	後藤喜美子	小森三徳
柴田裕美子	清水紀代子	副田一幸	高山昇	綱分睦子	永尾睦	中村純子
波止一吉	西尾みどり	野口嘉孝	橋本茂子	春田正利	平沢光俊	藤淵明宏
古野京子	本多文子	前野真由美	松井省造	森岡祐一	吉田正	吉村徹也

「食」の自立支援事業が市内全域で始まりまし

おおむね65歳以上の1人暮らしや高齢者のみの世帯で、調理が困難で栄養状態に不安のある人や引きこもりがちの人を対象に、栄養バランスのとれた食事の配食や安否の確認を行います。

- 利用料 ▷1食=300円(おかずのみは250円)
- 内容 月曜日から金曜日までの内、希望する日の夕食(ただし、8月13日から15日まで、12月28日から翌年1月3日までは配食ができません)
- 申込み ▷照陽園=☎32・2588▷つくも苑=☎33・4001▷リストロー=☎55・3035
- 問い合わせ 本庁老人福祉係 ☎32・0515、支所福祉係 ☎52・1113

7月のB&Gプール開館カレンダー

- 午前9時から午後8時まで
- 午後3時から午後8時まで
- 1日お休み
- 問い合わせ 宮若市宮田B&G海洋センター ☎32・0076

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

納税

今月の納税（7月）

- 市県民税 第2期
- 国民健康保険税 第4期
- 納期限 7月31日（月）
- 口座振替日 7月25日（火）  
納期限内に納税されないときは、納期限の翌日から完納される期間に応じ、延滞金が徴収されます。（最初の1カ月は年利4.1%、以降14.6%）
- 問い合わせ 本庁収納係 ☎32・0513、支所税務係 ☎52・1111

未納者には  
イエロー封筒や  
レッド封筒を送ります

税金などの滞納対策の取り組みの一つとして、納付の意思を確認する催告書と、差押予告書を送付する封筒の色を、それぞれ黄色と赤色の封筒を使用して送付します。

- 税負担の公平性を図るためにも、納期限内に納めましょう。
- 問い合わせ 本庁滞納対策室 ☎32・1008

試験

平和を願うあなたを求む  
自衛官採用試験

- 募集種目 一般曹候補生、曹候補士、2等陸・海・空士、航空学生
- 受付期間 8月1日（火）から9月8日（金）まで  
※ 試験日や会場については、お問い合わせください
- 自衛隊説明会 ▷7月29日（土）＝嘉麻市役所▷8月5日（土）＝飯塚コミュニティーセンター▷8月20日（日）＝鞍手町総合福祉センター
- 問い合わせ 自衛隊福岡地方連絡部飯塚募集事務所 ☎0948・22・4847

募集

福岡県農業大学校  
研修科研修生追加募集

- これからの農業を担うあなたをお待ちしています。
- 募集定員 若干名
  - 研修内容 ▷野菜コース＝施設イチゴ▷野菜コース＝施設トマト

- 研修期間 7カ月
- 募集日程 ▷申込書受付＝7月24日まで（月）▷面接日＝8月3日（木）▷受講の決定＝8月9日（水）
- 選考方法 書類審査、面接（書類審査の合格者に実施）
- 応募方法 所定の申込書に就農計画書、営農計画書、就職計画書のいずれかと健康診断書を添えて郵送。（配達記録郵便）また、直接提出（平日の午前8時30分から午後5時15分まで）
- 問い合わせ 福岡県農業大学校 ☎092・925・2403

愛情込めて指導します  
少年柔道入門生募集

- 練習日時 毎週3日回（月曜日・水曜日・金曜日）午後6時から午後8時までの2時間
- ところ 旧鞍手商業高校
- 対象者 中学生以下の男女
- 会費 年額4,000円
- 申込み・問い合わせ 松尾博



司 ☎32・0955、木下充芳 ☎33・3839

第2回  
市営住宅空家入居者募集

- 受付期間 8月7日（月）から18日（金）まで
- 公開抽選会 9月下旬（予定）  
※ 募集団地や募集戸数については広報8月号でご確認してください（空家住宅がない場合などで募集を実施しないことがあります）
- 申込み・問い合わせ 本庁建築管理係 ☎32・0955

伝統文化に触れる  
いけばな子ども教室  
参加者募集

- 今年も文化庁の委嘱を受けた財団法人伝統文化活性化国民協会の事業として行います。
- とき 毎月第2、4土曜日午前10時30分から12時まで
  - ところ 中央公民館
  - 対象者 小学生から中学生まで
  - お花代 300円程度（1回につき）
  - 主催・指導者 （財）小原流筑豊支部（佐々木雨瑞、荒牧

- 雨恵)
- 後援 宮若市教育委員会
- 申込み・問い合わせ （財）小原流筑豊支部、佐々木さん ☎32・3266

第6回福岡県ねんりん  
スポーツ・文化祭合唱  
フェスティバル参加者募集

- 開催日 11月14日（火）
- ところ 大野城まどかピア大ホール（大野城市）
- 参加資格 福岡県内在住の60歳以上の人
- 参加料 月額1,000円
- 募集定員 100人（定員になり次第締め切りとなります）
- 申込方法 所定の申込用紙に必要事項を記入のうえ、提出。  
※ 詳細についてはお問い合わせください。
- 申込み・問い合わせ 福岡県ねんりんスポーツ・文化祭実行委員会事務局 ☎092・584・3377

紫外線が気になるあなた  
受講してみませんか

環境問題や紫外線とこどもの健康について考えてみませんか。

- とき 7月12日（水）午前10時から
- ところ 中央公民館若宮分館
- 講師 柴田英俊さん（紫外線教育研究所）
- 問い合わせ 中央公民館若宮分館 ☎52・0859

風を感じよう  
パラグライダー受講生募集

- 空に浮く感覚を体験します。
- とき ▷第1回＝7月30日（日）▷第2回＝8月6日（日）▷第3回 8月20日（日）それぞれ、午前8時30分から講義、10時から実技
  - ところ 旧鞍手商業高等学校
  - 募集定員 各15人
  - 対象 小学校6年生以上で、市内に住んでいる人や勤めている人（身長が140センチ以上）
  - 受講料 ▷中学生以下＝500円▷高校生以上＝1,500円（スポーツ保険料）
  - 申込方法 宮若市中央公民館、中央公民館若宮分館で申込ください。
  - 申込締切 7月21日（金）申
  - 申込み・問い合わせ 本庁社会教育・公民館係 ☎32・0123

安心安全まちづくりインフォメーション

5月

交通事故発生件数と窃盗犯罪発生件数をお知らせします。

交通事故発生件数	5月中	1月からの累計
件数	124件	572件
死者	0人	1人
負傷者	47人	192人

主な犯罪件数	宮田地区	光陵地区	宮田西地区	若宮地区	合計
車上ねらい	4 (16)	0 (4)	0 (2)	1 (8)	5 (30)
部品ねらい	2 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (4)
乗り物盗	3 (6)	1 (1)	1 (2)	3 (6)	8 (15)
自販機ねらい	1 (2)	2 (2)	0 (1)	2 (7)	5 (12)
空き巣など	3 (14)	0 (4)	2 (5)	2 (4)	7 (27)
合計	13 (42)	3 (11)	3 (10)	8 (25)	27 (88)



うちわを持って  
おいでよ  
盆踊り講習会

皆さんの参加をお待ちしています。

- とき 7月28日（金）午後7時から
- ところ マリーホール宮田
- 曲目 これから音頭ほか
- 持ってくる物 うちわ
- 講師 宮若市文化連盟
- 問い合わせ 宮若市中央公民館 ☎32・0123



宮若市から全国に、さわやかな朝をお届けしませんか

- 問い合わせ 宮田郵便局 ☎32・0170、本庁スポーツ振興係 ☎32・0123

宮若市合併記念と、NHK北九州放送局開局75周年記念に併せて、夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会が行われます。皆さんの参加をお待ちしています。

- とき 8月9日（水）▷受付開始＝午前5時から▷開會行事＝6時から10分間▷放送予定＝6時30分から10分間
- ところ ▷晴天会場＝若宮中学校グラウンド▷雨天会場＝若宮中学校体育館
- 参加費 無料（参加記念品があります）
- 主催 日本郵政公社、NHK、全国ラジオ体操連盟
- 共催 宮若市

- 主管 宮若市内郵便局、NHK北九州放送局、福岡県ラジオ体操連盟、宮若市教育委員会

私たちが宮若市にやってきます



● 多胡 肇さん（体操指導）



● 幅 しげみさん（ピアノ伴奏）

# 守りの野球を受け継ぎ、 全国大会出場を目指す。

## 宮田ホワイトファイターズ

●監督 原田正彦 ●コーチ 金川剛己・真田勲

今年は本当に強い。

4月9日から行われた直方中央ロータリー杯争奪春期大会では、見事優勝を勝ち取る。29日からの全日本学童軟式野球直轄支部予選でも順当に勝ち上がり、現在県大会出場をかけた戦いを行っている。5月3日から行われたスポーツ少年団軟式野球直轄支部予選でも、大差の試合展開で地区大会出場を決めた。

今年は勝ちまくっている。その勝率は、9割を超えている。ここは、宮田ホワイトファイターズの練習グラウンド。真っ黒に日焼けした選手たちが、日々練習を積んでいる。

宮田ホワイトファイターズは今年で十九年目を迎える。これまでたくさんさんの野球少年を育ててきた。

チームカラーは、ピッチャーを中心とした守りのチーム。これは、創部から変わっていないという。背番号10番を付け、エースを務めるのが主将の金川伊武季くん。部員二十三人をまとめる。「今年も、小学校生活最後の大会となります。どうしても、全国大会出場という目標を達成させたい。チーム全員で打って、守って勝ち上がりたいです」と力強く抱負を話してくれた。

小学校四年生からこのホワイトファイターズでプレーをしている。将来の夢は、福岡ソフトバンクホークスでプレーをすることという。

「今年も絶対調ですから、どんどん三振をとっていききたい。期待してください」

現在、宮田ホワイトファイターズは部員の募集を行っている。火曜日と水曜日、金曜日に専用グラウンドで練習をしている。興味のある人は見学にきませんか。懸命に白球を追う選手の汗が、そこにあります。



## 螢 ほたる

●世界には二千種、日本には四十種類程が生息しています。ほとんどのホタルが陸生のもですが、ゲンジボタルやヘイケボタルは幼虫時代を水中で生活する数少ないホタルです。



→ほたるは、成虫になって10日ほどでその生涯を閉じる。その幽玄で神秘的な光に、心奪われる。

『ほーほー、ほたるこい  
ほたる、来い来い  
あつちの水あにがいぞ  
こつちの水あーまいぞ』  
ほたるの光に包まれると、思わ

ず口ずさんでしまうこの歌。ほたるが生息しているというところは、そこに豊かな生態系があるという証拠です。  
6月10日土曜日、西鞍の丘をメイン会場に、宮若ほたる祭が行われました。

この日は、近くの田んぼで田植えの体験学習や、地元小学校の児童が総合学習の中で取り組んだほたるの事例発表を行ったり、また、門司港からはバナナのたたき売りがあなど、終日多くの来場客でにぎわいました。

日が暮れると、それぞれのほたるの観賞地まで、シャトルバスが運行。到着するとそこには、ほたるが飛び交う神秘的な世界が広がっていました。

この日、福岡市の東区からやって来た女性は、「ほたるの数の多さに本当に驚きました。(こまで、きたかいがありました。また来年も、たくさんのほたるが見れるといいですね」と興奮気味に話してくれました。

ほたるが織りなす幻想的な世界に、たくさんの人々が魅了されていました。

この祭を通じて、私たちは自然の大切改めて感じました。  
今度は私たちが、大切に守るという「意識」を持ち、身近な自然を考え、これからもふる里に心とむ自然環境を残していくために何が必要なのか、一緒に考えてみましょう。



←地元小学校の児童が取り組んだホタル学習の事例発表。見る人にわかりやすく、パネルを使ってホタルの光り方やよく飛ぶ時間帯など、説明してくれました。

## 編集を終えて



「当時と全然変わらんですよ。懐かしいな」と話すのは永野一夫さん。アルコ22号と一緒に、十八年間、共に走ってきた。久しぶりの再会に笑みがこぼれてくる。  
アルコ22号は大正8年にアメリカから、三万四千五百円で購入された。そして、宮若市の石炭産業を支え、走ってきた。しかし、もうその走る雄姿を見ることはできない。ミュージカル「朱燃え石」の中では時を越え、子どもたちを乗せて元気いっぱい走り回った。そして、ふる里の大切さを気付かせてくれた。アルコ22号、これからも一緒に宮若市の歴史を刻んでいこう。